

法人運営⑦ 紫磨園の「飯」

紫磨園の飯は“美味〜い”を目指す。

平成28年5月11日の主任・副主任会議で、介護される側がどのような食事を召し上っているか、会議メンバー（介護主任・副主任・看護主任、相談員、園長）が実食。見た目より、意外と美味しいと感じるものや、お粥と混ぜると、全く味が無くなってしまいうなど、実食してみないとわからない、不思議な体験も・・・。

「これは、全員に体験させた方がいい・・・」との結論に、「美味しい」と感じていただくためには、

- ① 見た目
- ② 味
- ③ 介助方法

三位一体の必要性を実感する、貴重な時間となりました。

また、園の食事を食べたことのない職員（特に介護職員）が多数いるとの意見も出て、検食をフロア間の持ち回りで行うことに。

新たな展開でさらなる「紫磨園の飯は美味〜い！」を目指します。



法人運営⑧ 理事会及び食事会

20日、普段施設の食事を口にする機会のない、理事長・理事を交え、食事会を行いました。冒頭、管理栄養士の小浦から、献立について説明を受け実食開始。上記の食事の話題が続きますが、“紫磨園の飯は美味しい”を目指し、本気で取り組み、写真と文章だけでは伝わりにくいのが残念ですが、かなりグレードアップしております。今後は、皆様にも味わっていただく機会を設けられればと考えております。



地域のか⑥ ソフトボール交流2

5月20日、とても爽やかな夜、舎人公園野球場でソフトボール交流。

今回は、古千谷苑さんの若手4名と、紫磨園から10人が参加。

ほとんどが極度の運動不足。しかし外野練習では、翌日・翌々に襲われるであろう筋肉痛をものともせず、白球を追いかけ、大汗。

は、軽く練習試合を。ともあれ、怪我もなく第二回目となったソフトボール交流も、無事にまた楽しく終わりました。

参加していただいた古千谷苑の皆様さん、ありがとうございました。キッチンが、差し入れのおにぎりも美味しくかったです。



職員の私生活⑤ ニューフェイス2、佐藤さん

Q、介護の仕事に就いたきっかけ
A、以前の会社で医療事務をしておりましたが、会社の新規立ち上げで介護の仕事に初めてすることになり、今の仕事に就きました。

Q、趣味について
A、中学、高校にかけて、サッカーのクラブ活動をしていて、さらに職場の仲間と3年ほどしています。今は、チャンピオンズリーグなどを観るのが専門です。

